

府中市健康地域づくり審議会
第10回熟年元気づくり分科会 報告書

- 1 日 時：平成27年11月17日（火）9時30分から11時00分まで
- 2 場 所：市役所3階第3会議室
- 3 出席者：中野悦成（分科会会長） 宮口英昭（分科会副会長）
重森由枝（分科会委員） 前原裕吉（分科会委員）
藤本命壮（分科会委員） 守屋綾子（分科会委員）
- 4 欠席者：寺岡暉（職権委員） 伊達速人（分科会委員）
- 5 概 要
 - (1) 開会
 - (2) 分科会会長あいさつ
 - (3) 議事

①高齢者の生活を支えるための地域づくりについて

●第10回分科会の進め方の説明

事務局から、第10回分科会の進め方について、今年度実施している「高齢者の生活を支えるための地域づくり」、「生きがい創業ビジネス補助金」、「プラチナ大学」の3事業について、「今年度におけるこれまでの取り組みの報告」、「今年度の今後の取り組み予定」、「新年度における取り組み」を報告・提案し、併せて「提言内容に基づく新たな取り組み」について意見を求めることを説明した。

●関係資料の説明

事務局から「高齢者の生活を支えるための地域づくり」について、資料により提案・概要説明を行い、「協議体とコーディネーターによる居場所と出番づくり」について意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- ボランティア活動や支えあい・見守りなどの社会関係資本について啓発を行い、市民の意識を高めることが、長期的には効果があるのではないか。
- 協議体で、民生委員が主に担っている見守りなどについてカバーすることを考えてほしい。
- 地域活性のためにも、ボランティアポイントに地域通貨の仕組みを加えてはどうか。

- ボランティアポイントについては、お金を貰ってボランティアをしたくない方もいるので、コーヒーや温泉のチケットなどでお礼するなど、方法を考える必要がある。
- 元気もりもり体操の配布用DVDについては、解説をカットしたものをいただければ、時間が短縮できてありがたい。
- 元気もりもり体操については、様々な会場でDVDを流すことで市民に浸透していくのではないか。

②生きがい創業ビジネス補助金について

●関係資料の説明

事務局から、生きがい創業ビジネス補助金について、資料により提案・概要説明を行い、事業内容について意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 対象者を掘り起こすことも必要なのではないか。
- 事例をホームページで公開してはどうか。
- 申請や報告の書類手続きを簡素化すべきだ。
- 補助率2分の1では出資が必要なため、事業内容によっては苦しいと思う。

③プラチナ大学について

●関係資料の説明

事務局から、プラチナ大学について、資料により提案・概要説明を行い、事業内容について意見を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 12月16日の講座「農産物の多種栽培と観光農業」については、道の駅への農産物提供にも関連があるため、産業活性課と連携して多くの市民に受講を呼びかけてはどうか。
- 今年度のように目的を持った参加者が集まるのであれば、来年度も講座を続けた方が良くと思う。

④提言に基づいた新たな取り組みの検討について

●関係資料の説明

事務局から、提言に基づいた新たな取り組みの検討について、資料により提案を行い、新たな取り組みのアイデア等を求めた。

●質疑・意見交換

【主な質疑・意見】

- 元気高齢者へのインセンティブ制度に期待している。
- 高齢者の婚活は面白いと思う。
- 「前面に出ないがコミュニティの拠点になりそうな人」を上手く支援できれば、資源の発掘につながると思う。

(4) 閉会

事務局のまとめとして、「高齢者の生活を支えるための地域づくり」、「生きがい創業ビジネス補助金」及び「プラチナ大学」については、分科会での意見等を今年度後半の運営に活かしていくとともに、意見等を参考に作成した新年度事業案を来年3月開催予定の次回分科会で示し、改めて議論いただく予定であること。また、「提言に基づいた新たな取り組みの検討」については、分科会での意見等を踏まえるとともに事務局の積極的なプランも示していきたいことを述べた。

宮口副会長から、今回の分科会での議論を参考にして次回分科会でも様々な提案をいただきたいと挨拶があり、閉会とした。